



探究力向上のための3カテゴリ「13の資質・能力」目標リスト

このリストは探究力向上のための13の資質・能力について、各学年段階での到達目標を示すものです。SSRの諸単元や課題研究だけでなく、普通教科の授業も一部の資質・能力においてレベルを意識して行うこととしています。皆さんは自己評価や振り返りでこのリストを活用し、卒業時まで「レベル4」に達することを目指してください。



資質・能力 (学習指導要領三観点)		Level	1	2	3	4	5
		説明/基準	入門レベル 学習者としての関心・意欲・態度が良好 (入学時目安)	基礎レベル 必要性の理解・初歩的な実践 (1年終了時目安)	標準レベル 積極的な理解・実践 (2年終了時目安)	発展レベル 発展的理解・自律的な実践 (卒業時目安・このレベルを目指す)	世界を舞台に指導的役割を果たす人材 未来の国際社会をリードする科学技術人材
課題 発見力	知的 好奇心 (主体)	自然科学をはじめ様々な分野の学問を主体的に学ぼうとする態度	授業で学んだことについて調べようとする。	自然科学をはじめ様々な分野の学問に興味・関心を持ち、複数の知識を関連させながら主体的に学ぼうとする。他者の発表等で疑問に思ったことは質問して解決できる。	知識を関連させながら幅広く学ぶ中で、特に自分の興味・関心が高い分野を掘り下げて主体的に学びを深めようとする。質問を行うことで積極的に疑問を解消しようとする態度を持っている。	分野を問わず知ることを楽しみ、専門分野や学校の枠を越えて主体的に学ぼうとする。	自分の専門性を踏まえ、社会に貢献する立場に立って、様々な知識を自律的に取り入れようとする。
	資料 調査力 (知・技)	書籍、文献などの資料を調査・収集し、必要な情報を整理する力	身近なところの疑問や授業に関連する内容について、関連する資料にアクセスすることができる。	課題研究において書籍、文献を調査する必要性を理解したうえで、信頼できる情報源から情報を収集することができる。	科学的なりテラシーを備えつつ、収集した情報を引用して研究に活かすことができる。	収集した情報を整理、統合、評価し、多面的に解釈して自分の言葉で要約できる。	書籍や論文だけでなく、地域でのフィールドワークや専門家へのインタビューなども行い、自身の携わる課題に関する情報を自律的に収集することができる。
	課題 認識力 (思・判・表)	諸事象から課題を認識し、探究課題を設定する力	日常生活で触れる事象に対して「なぜ?」「こうなったらいいのにな」と好奇心を働かせて興味・関心を持つことができる。	科学・文化分野の課題、地域や世界の課題等を意識しながら先行研究調査を行い、それらと関連させて自分が興味を持った事象を研究課題とすることができる。	発表でのフィードバックや専門家によるアドバイスを受け、最先端の科学・文化分野の課題や、最新の地域や世界の課題とつながるように現在取り組んでいる研究課題を深めることができる。	最先端の科学・文化分野の課題や、最新の地域や世界の課題をよく理解し、目標とする自身の将来像と関連させて主体的に課題を捉えることができる。	最先端の科学領域・文化領域や、日本や世界が抱える諸課題を踏まえ、自らの生き方・あり方と関連付けて自分が取り組むべき探究課題を設定できる。
課題 解決力	計画 立案力 (思・判・表)	見通しを持って、仮説を設定し、研究計画を立案する力	与えられた課題の解決に向けて、ある程度見通しを持って計画を立てることができる。	自分たちで取り組むテーマを決め、それに対して、ある程度見通しを持って仮説を設定し、その検証計画を立てることができる。	明確な根拠を持って仮説を設定し、その検証までのプロセスを筋道立てて整理して計画を立てることができる。	明確な根拠を持って仮説を設定できるうえ、検証の過程で新たに生じた疑問や得られた反証を踏まえ、柔軟に計画を立案・再構築できる。	最先端の世界的課題の解決策につながる新規性のある仮説を設定し、緻密かつ具体的に実行可能な研究計画を立案できる。
	粘り 強さ (主体)	主体的に継続して、解決に向けて追求する力	難しい課題に直面したとき、周囲の人の援助があればやり遂げようとする姿勢や意欲が見られる。	難しい課題に直面したとき、逃げずにやり遂げようとする姿勢や意欲が見られる。	難しい課題に直面したとき、主体的にやり遂げようとする姿勢や意欲が見られる。	主体的に継続して、課題解決に向けて追求することができる。	最先端領域や世界的な課題において、困難に直面しても最後まで諦めず、試行錯誤を繰り返しながら成功に向かって努力し続けることができる。
	人間 関係力 (主体)	協働性、リーダーシップなどの人間関係構築力	課題に誠実に取り組み、他者との協働の中で自分の役割を誠実に果たそうとする。	チームの活動を進めるためには円滑なコミュニケーションが必要であることを理解し、積極的に協働しようとする。	場面によりリーダーシップを発揮し、目標の達成に向けてチーム活動を活性化し前進させることができる。	チームにおいて自らリーダーシップを発揮しつつ、周囲の多様な意見を尊重して円滑なコミュニケーションをとりながら協働できる。	立場や年齢が異なる様々な関係主体と円滑なコミュニケーションをとりながら協働して、活動を活性化し前進させることができる。
	多角的 思考力 (思・判・表)	教科横断的・多角的・多面的な視点から、批判的に思考する力	簡単な問題に対して、中学校卒業までに獲得した知識に基づいて思考することができる。	問題に対して一つの視点から論理的に思考することができる。	問題に対して複数の視点から論理的かつ批判的に思考することができる。	問題に対して複数の視点から論理的かつ批判的に思考する独自のアプローチを確立している。	問題に対して複数の視点から捉えるとともに、問題の背景にまで切り込んで深く掘り下げ、論理的かつ批判的に思考することができる。
	分析 力 (知・技/思・判・表)	統計手法を用いてデータを分析・解釈し、結果を考察する力	データを分析・考察するために統計的手法を用いる必要があることを理解している。	簡単な統計的手法を用いつつ、得られたデータを分析・解釈することができる。	統計的手法を踏まえたデータ分析・解釈を行うことができ、客観的で説得力をもった考察ができる。	様々なデータの分析・解釈において、統計学的視点からアプローチでき、客観的で説得力をもった考察ができる。	課題に合わせて適切にデータ収集を行うことができるとともに、様々な機器やソフトウェアを駆使してデータサイズによらず最適な分析を行うことができる。
	創造 性 (主体)	課題解決のための方法を工夫改善したり、モデル等を創造する力	手順書があればそのとおりに実行できるうえ、作業効率や結果の質を高めるための工夫をしようとする。	手順が確立されていない新しい課題について、既存の手法やアイデアを利用しながら、自ら解決の方法を考案できる。	手順が確立されていない新しい課題について、既存の手法やアイデアを改善しながら解決の方法を考案できる。	広く社会一般で出会う様々な課題において、独自のアイデアや手法で解決の方法を考案、提案できるうえ、作業効率や結果の質を高めるための独創的な工夫ができる。	非常に創造的で、独自のアイデアや手法を多数持ち、常に新しいことを生み出すことができる。
レジ リエンス 力 (主体)	実験・調査の途中結果を踏まえ、何度もチャレンジする態度	高い目標を達成するには失敗を繰り返しながら何度もチャレンジするものだという心構えを持つようとする。 ○自分の強みと弱みを知っている。 ○好きなことや好きなものがある。	目標の達成に向けて、失敗してもへこたれずにチャレンジしようとする。 ○自分の考え方のくせがわかる等、自分を理解した上で学習を進めることができる。 ○他者と協力し合って物事を進めることができる。	周囲の応援を受けたり力を借りながら、自分で決めた目標に向けて、自分のルールを守り、行動しようとする。失敗することがあっても試行錯誤をしながら改善し、克服しようとする。 ○自分らしさを大切に、周りに流されないで学習を進めることができる。	目標実現のために適切に自分でルールを決め、それを守って行動できる。失敗から自分自身が立ち直る方法を知っており、素早く克服できる。 ○自分の長所は認め、より伸ばす方法がわかる。短所は考え方や見方を変えることにより長所に変えていくことができる。	目標達成に向けて信念を持って行動し、チャレンジ精神旺盛で、逆境に遭遇してもすぐに立て直すことができる。 ○失敗しても自分を信じ続けることができる力を持ち、努力を続けることができる。	
表現 力	語学 力 (知・技/思・判・表)	◆国語力(論理・表現、語彙)、◇英語力(4技能、語彙)	◆ほとんどの常用漢字を読むことができ、平易な説明文を理解したり表現したりするために必要な語彙を身に付けた上で、自分の考えを表現することができる。 ◇中学校での学習内容を用いて、英語で身近で簡単な内容について会話、読み、書き、ができる。	◆常用漢字の読み書きができ、説明文や評論文を理解したり表現したりするために必要な語彙を増やした上で、目的に応じて表現をすることができる。 ◇様々な話題に関する英文を理解し、それに対する自分の考えを簡単な理由をつけて発信することができる。(英検準2級相当)	◆常用漢字の読み書きに慣れ、学術的な内容を学ぶために必要な語彙を身に付けた上で、文章の構成や展開に注意しながら表現することができる。 ◇幅広い話題に関する英文を的確に理解し、それに対する自分の意見、考えを適切な理由や具体例を交えて発信することができる。(英検2級相当)	◆論証をしたり、学術的な内容を学んだりするために必要な語彙を身に付け、文章の構成や展開の仕方を理解した上で効果的に表現することができる。 ◇社会問題等、幅広い内容に関する英文を正確に理解し、それに対する自分の考えを論理的にまとめ発信することができる。(英検準1級～2級相当)	◆◇日本語や英語でのコミュニケーションをとることができ、発表時も使用言語に応じて質問のやりとりができる。 日本語や英語の論理的な文章を読むことができ、内容を正確に理解できる。また、適切な表現や専門用語を用い、論文を書くことができる。
	要約 力 (思・判・表)	分かりやすくまとめる力	与えられた文章の要点のいくつかを箇条書きで挙げることができる。	与えられた文章の要点をほぼ把握し、自分の言葉でまとめることができる。	与えられた文章の要点を把握するとともに、筆者の論理展開を踏まえて自分の言葉でまとめることができる。	与えられた文章の要点を完全に把握し、筆者の論理展開を踏まえて正しく要約できるとともに、読み手に応じて表現を工夫することの必要性を理解している。	与えられた文章の要点を完全に把握し、筆者の論理展開を踏まえて、読み手に合わせてまとめることができる。
	説明 力 (思・判・表)	根拠を持って論理的に説明する力	根拠と理由に基づいて論理的に説明することができる。	聞き手の理解しやすさに配慮しながら、根拠と理由に基づいた、論理的な説明やプレゼンテーションをしようとしている。	聞き手の理解しやすさに配慮しながら、根拠と理由に基づいた、論理的な説明やプレゼンテーションができる。	話し方や資料の構成など、聞き手が理解しやすくなるような効果的な工夫をした上で、根拠と理由に基づいて、論理的な説明やプレゼンテーションができる。	話し方や資料の構成など、聞き手が理解しやすく、印象に残るような効果的な工夫をした上で、根拠と理由に基づいて、論理的な説明やプレゼンテーションができる。

【参考文献・引用文献】「課題探究型地域創生人材ルーブリック＜県大生に期待する行動例と水準＞」広島県立大学／「次世代人材ルーブリック」次世代教育・産官学民連携機構／「ルーブリックを活用したアセスメント(中教審高等学校教育部会)」演名 篤(関西国際大学学長) 2012.11.19／「SSH8校の連携による「標準ルーブリック」開発の取り組み」西岡加名恵・大貫 守2020／「県立長岡高等学校 英語の学習到達目標(R4)」長岡高等学校英語科